



あと一步の向上に向けた取組

函館市立神山小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- ①「言語活動の充実」を図る校内研修
- ②各種検査等の分析や学習の手引きの改善

2 取組の概要

①「言語活動の充実」を図る校内研修

- 昨年度の成果と課題を生かした授業づくり
 - ・昨年度までの算数科を中心とした、「課題解決的な授業」「思いや考えを言葉で伝え合う授業」の成果と課題を確認し、引き続き今年度の授業に生かす。
- 国語科「話すこと・聞くこと」に焦点を当てた授業づくり
 - ・論理的思考，コミュニケーション，感性，情緒等の基盤となる「言語に関する能力」を高めるため，今年度より，国語科の「話すこと・聞くこと」に焦点を当てた研究を推進する。
- 他教科，領域等で言語に関する能力を高める授業づくり
 - ・算数科や国語科で培った言語に関する力が，実生活で生きて働き各教科等の学習の基本となる言語能力が身につくよう，来年度より教科や領域等を広げて研究を推進する。

②各種検査等の分析や学習の手引きの改善

- C R T学力検査及び全国学力学習状況調査の分析と活用
 - ・日常の授業に一層生かせるよう，各検査の分析方法や学力向上プランの改善を図る。
- 家庭学習の手引きの見直し
 - ・家庭学習の習慣が一層定着するよう，家庭学習の手引きを見直し，これまでの冊子形式から，掲示して子どもや保護者が書き込みながら使用できる様式へ変更する。

3 成果（○）と課題（●）

- 研究内容を焦点化したことにより，発達段階の違いによる「話し方・聞き方」の約束を共通理解することができ，教室へ掲示することができた。
- 指導と評価の一体化を図るため，自己評価・相互評価の内容を検討したり，自分や友だちの伸びを実感できる内容を工夫したりする等，教師が適切な評価ができる内容や方法を工夫・改善していく必要がある。